

グローバルな環境変化を捉え 経営現場に反映させたい

活動概要

政治や行政改革などをテーマとした問題提起とそれを受けた討議に加え、来年度に経済同友会として取り組むテーマや活動方法について意見交換を行う。

メンバー24名

(インタビューは10月11日に実施)

世話人 星野 敏雄

花王
取締役専務執行役員



1944年山形県生まれ。69年早稲田大学政治経済学部卒業後、花王石鹼（現・花王）入社。管理部長、社長室長、アンドリユー・ジャーゲンス社取締役社長、同・会長を経て、96年花王・常務取締役として欧米家庭品事業、国際業務室、情報事業本部などを担当、97年花王アメリカインク・取締役会長兼社長、98年ニベア花王・代表取締役社長、2000年花王・代表取締役専務取締役としてEVA推進担当（現任）兼会計財務部門担当、2002年代表取締役専務取締役執行役員、2003年代表取締役専務執行役員（現任）、2004年コーポレートスタッフ管掌（現任）に就任。
2002年11月経済同友会入会、2003年度より幹事。2003年度資本市場改革委員会副委員長、2004年度人事制度改革委員会副委員長、2005年度企業価値向上委員会副委員長、2006～2007年度マスコミ・ジャーナリズムのあり方を考える懇談会副委員長、2006～2007年度経済懇談会世話人を務める。

世話人 長瀬 眞

全日本空輸
専務取締役執行役員



1950年兵庫県生まれ。72年甲南大学経済学部卒業後、全日本空輸入社。経理部ニューヨーク駐在主席部員などを経て、2001年執行役員秘書室長、2003年常務執行役員東京支店長東地区担当、2004年取締役執行役員、2005年常務取締役執行役員に就任、CSR推進委員会議長、地球環境委員長、リスクマネジメント委員長、コンプライアンス委員長、広報室、CSR推進室、総務部を担当。
2004年4月経済同友会入会。2007年度経済懇談会世話人。

最前線に立つ経営者が意見や 経営課題をぶつけ合う場

星野：当懇談会は、経営の最前線に立つ執行役員クラスから副社長までの会員が集まり、日々直面する経営課題に関して意見をぶつけ合う場です。毎月2回の会合、講師をお招きしてお話を伺う会、それに工場見学などを行っています。

長瀬：まったく自由に、忌憚なく意見交換しています。私も含め、メンバーの方にとっては仕事に直結した会になっていると思います。

星野：今年度は「グローバルな経営環境変化と企業の対応力」というテーマを設けました。冷戦構造が崩壊し世界がひとつの経済社会に統合されつつあり、かつ、通信などの技術が進化して国境を越えたアウトソーシングが可能となっ

た今、グローバル化の波が押し寄せていることをひしひしと感じています。その中で、どのような変化が起きているのかについての認識を、経営の現場を担う者としてきちんと持っている必要があると考えました。

長瀬：現在起こっている変化のスピードはとても速く、以前は4～5年先まで見通せていたものが、今は1年、1年が勝負です。しかも、これまでは関係ないと思っていたような変化が、経営に大きく影響してくるような状況です。われわれ経営者は、その変化についていく必要がある半面、変化を創造する側でもあります。常にアンテナを張り、変化に対応できる態勢が求められるわけですが、当懇談会がその一助になればと思っています。

星野：現在の日本では、国際競争力の強い企業でないと生き残るのが難しいと言えます。そして、経営トップと現場とをブリッジするわれわれは、企業の高い志と意欲を体現し、企業価値の向上に努める役割を担っています。グローバル企業にふさわしい体力・能力・人材・技術力を獲得するための取り組みの契機を、当懇談会の活動から得てほしいと思っています。

長瀬：今年度より世話人を務めさせていただくことになり、光栄に感じています。メンバーの皆さんが忙しい合間を縫って出席してくださるのは、当懇談会に“何かがある”からだと思います。その“触発される何か”をできるだけ多く感じ取ってもらえるよう、微力ながら1年間がんばっていきつくりです。

※「経済懇談会」は、1997年度、諮問委員会の部会として設置された（座長は北城格太郎前代表幹事）。1998年度より、独立した懇談会となる。